

進化する素材と戦い続ける

かぶしがいしゃ
株式会社エムズ

〒482-0005 岩倉市下本町天神塚 208
TEL: 0587-38-0407
https://www.ms-cold.com



■会社概要

2004 (平成 16) 年に設立した、合成樹脂の成形・加工及び販売会社です。

親会社は株式会社宮下製作所で、以前は宮下製作所の一部門として自動車部品の製造及び加工を行っていました。

その後、工場の移転に伴って静岡県に進出しましたが、社長が、生まれ育った岩倉市での事業も継続したいという郷土への想いから、現在の樹脂加工事業を開始しました。



「エンジニアリングプラスチック」という言葉を聞いたことがありますか。身近なもので言えば、プラスチック製の「まな板」の素材などがそれにあたります。強度が強く、耐熱性、耐摩耗性、耐油性、伝導性等の特定の機能を向上させたプラスチックです。そのエンジニアリングプラスチックの加工を行っている会社が岩倉市にあります。

対応する材料の種類は100種類以上！

仕事は、お客様から注文いただいた仕様（材料など）と図面に従って、素材を準備し、加工機械（NCマシン）に数値を入力（プログラミング）して加工します。いろいろな分野の製品を、少量単位で受注生産・加工していますが、納入は約1週間の短納期となるよう努力しており、この対応力は強みだと考えています。

ほとんどが特性部品で、自動車、航空機、食品などの製造・加工現場などで使われているため、一般の方の目に触れるような場所で作られていることは非常に少ないです。

エンジニアリングプラスチックは、特性の異なるたくさんの種類があることが特徴ですが、いづどんな材料の注文を受けるかわからないため、常時100種類以上の材料を揃えています。中には、少しの量で100万円以上するものもあります。市場の変化に対応するため、加工が難しい新しい素材にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。

作業者の感性で製品が変わる

昔は、切削工具を自分で開発したり、素材の形状に応じて機械や刃物を変えたり、いろいろなノウハウが必要でしたが、加工機械の精度が高まり、以前のような職人技的な面を活かせる部分は少なくなっています。

しかし、機械特性に合わせた微妙な数値調整や、加工手順の決定、機械の送り速度の設定、加工用の刃物の交換タイミングの違いなどによって、製品加工面などの仕上がりに違いが出てくることもあり、「作業者の感性」が製品の精度の重要な要素になっていると言えます。

量産現場を支える治工具

部品ではなく、量産工程での作業をやりやすくするための「治工具」というものの製作を依頼されることもあります。

現場には量産工程で監督者を担っていた社員もいるので、お客様のニーズや使い方を伺って、より使いやすい治工具を提案することもできます。0から考えて形になった時はやはり嬉しいものです。

「どこまで行っても“人”だと思います。トップの方針と、それを中間で指揮する人、そして作業する人、全ての歯車がかみ合わせながら、人を大事にしながら企業が発展できるようにする。会社は、やはり“人”なんです。」と宮下社長が語ってくれました。整理された工場内や気持ち良く対応してくださる社員の方々の姿勢が、その社長の言葉を体現されています。